

H.C.Andersens eventyr rakugokai

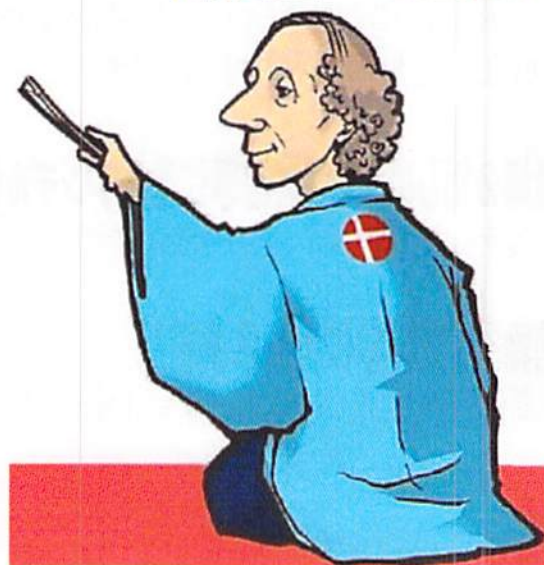
笑って祝う「日本デンマーク国交開始150周年」

第2回



アンデルセン 童話落語会

@ København



日本デンマーク国交150周年を祝うタベ

コペンハーゲン公演のご案内

出演 露の団四郎・笑福亭に勇
日時 2017年5月28日(日) 17:30
会場 レストラン東京 (要予約)

Vesterbrogade 77, Copenhagen 1620, Denmark +45 33 31 01 65

料 300DK 弁当付

企画・主催

(有)ビネバル出版

協力

レストラン東京

〈演 目〉

小吉と大吉(露の団四郎)-アンデルセン童話落語

アンデルセン童話「小クラウス、大クラウス」が原作。

時うどん(露の団四郎)-古典落語

*江戸落語では「時そば」として有名。この話の本場である上方では、うどん屋のオヤジとのやりとりに加え、二人の男のやりとりが加わります。

殿様の新しい着物(笑福亭仁勇)-アンデルセン童話落語

*アンデルセン童話の傑作「王様の新衣装」を江戸時代に置き換えて語ります。

動物園(笑福亭仁勇)-古典落語

*新作落語ですが、すでに古典落語といわれる傑作落語。



〈芸人紹介〉



露の団四郎(つゆのたんしろう)

福岡県出身、昭和52年3月「露の五郎兵衛」門下に入門。露の五郎兵衛(故人)怪談噺で著名な落語家でした。団四郎は、その怪談を入門当時から手伝っており、現在、その師匠譲りの怪談噺を継承しております。大阪にわかもコツコツと勉強に励んでおり、四代目一輪亭花咲(いちりんてい はなさく)の名を継承しております。小柄ながら、全身にファイトを漲らせての熱演ぶりが、子どもからお年寄りまで、幅広い人たちに喜ばれています。本落語会は2006年から出演しています。



笑福亭仁勇(しょうふくていにゆう)

大阪府出身、昭和52年4月「笑福亭仁鶴」門下に入門。本人は「落語とは深く親しんでいるが、未だ会得していない」という。上方文化への造詣が深く講演会の講師を務め、高校の非常勤講師「上方文化・芸能」の授業も受け持っています。地域の文化活動にも参加し、全国各地の「まち起こし・活性化」にも関わっています。本落語会は2006年から出演しています。